



地域とつながるFFG連携プロジェクト

FFGグループの幅広いネットワークを活かした地域創生の具体的な実例をご紹介します。

地域創生への取り組み

現在、各地方自治体は、国の「まち・ひと・しごと総合戦略」に基づく「地方創生」の取り組みを推進しています。

FFGでは地域金融機関に期待される役割をグループ一体となって発揮していくため、各地方自治体と連携を強化し、各種施策や取り組みに積極的に参画していきます。

嘉麻市

KAMA CITY

2019年8月30日、ふくおかフィナンシャルグループ（以下、FFG）と嘉麻市及び福岡大学基盤研究機関身体活動研究所（以下、研究所）は、地域経済の活性化を目指すとともに、学術研究成果の社会実装と人材育成に寄与することを目的に、連携協定を締結しました。

「ヘルスツーリズム」で商品開発

連携協定を基に今取り組んでいるのは、福岡大学が開発した、ゆっくりとした速度で長く走る「スロージョギング®」に、「観光×食」を掛け合わせた「ヘルスツーリズム」を活用した健康づくりの支援事業です。

本事業は、「嘉麻市の地域資源の活用」、「福岡大学の健康持続社会の実現を目指す福奏プロジェクト」、そして「FFGのお取引先との連携」を融合した産学官金連携によるプロジェクトです。

今後は、嘉麻市内の食材を使った健康食を提供するとともに、スロージョギングをしながら市内の観光地



スロージョギング体験の様子



記者会見の様子（左から）福岡銀行村本筑豊地区本部長 赤間市長 榎垣所長

（酒造場や史跡等）を巡るツアーを定期的に実施する予定です。このツアーを通して、市民の健康水準の維持・健康寿命の延伸を実現させるとともに、地域雇用の創出ならびに交流人口・観光客の増加を目指します。

銀行のネットワークを使いプロジェクトを支援

FFGは、2008年に福岡大学、2015年に嘉麻市とそれぞれ連携協定を締結しており、これまで様々な取り組みを実施してきました。この協定に基づく取り組みの一環として、2018年度に、嘉麻市とFFGが連携し、同年10月厚



行橋市

YOKOHASHI CITY

生労働省の「実践型地域雇用創造事業」に採択されました。

実践型地域雇用創造事業とは、雇用機会が不足している地域における雇用創出の取り組みを支援する事業です。その事業の一つとして、研究所の協力による「ヘルスツーリズム」の開発を実施することで、地域雇用の創出ならびに交流人口の増加等、地域活性化につながる取り組みを実施してまいります。

(担当…福岡銀行公務金融法人部 鶴原)

福岡銀行は、行橋市において実施される産学官金連携支援事業「本当に〇〇歳!?体力年齢マイナース10歳プロジェクト」市民の若返りにコミット」に参加しています。先に行われた記者会見で行橋市の田中純市長は「これは、福岡銀行との連携協定から始まり、地

域の課題を解決するために産学官金が力をあわせるプロジェクト。ぜひ成功させたい」と話されました。

産学官金連携の事業

弊行と行橋市は2015年7月に地方創生にかかる連携協定を締結しています。

その一環として、対面プログラムを実施するRIZAP株式会社(以下、RIZAP)、と福岡工業大学社会環境学部の榑崎教授や佐賀大学教育学部の山津准教授の知見を活かした、非対面プログラムを実施する正興ITソリューション株式会社(以下、正興ITソリューション)のサービスを組み合わせ事業化を進めています。

尚、(公財)福岡県産業・科学技術振興財団(ふくおかIST)との産学官金の連携協定に基づく事業の一環として、九州経済産業局の「地域中核企業ロー

カルイノベーション支援事業」の支援を受けています。

実施の具体的取り組み

本プロジェクトは、市民から参加者を募り、RIZAPが指導するプログラム(運動・食事管理)を行い、体力年齢の改善を目指します。

その後、正興ITソリューションが各大学の知見を活用し開発したアプリで非対面での運動指導を実施。運動を習慣付け、改善した体力年齢を維持させることで、行橋市の課題である市民の健康意識の向上、健康寿命の延伸を図ることを目的としています。

今後も地域に根ざした金融機関



ライザップのプログラム実施風景



産学官金関係者による記者会見の様子

プロジェクトの概要図



として、地域経済の活性化や地域が抱える問題解決に積極的に取り組んでまいります。

(担当…福岡銀行公務金融法人部